

白昼堂々 (凧一シリーズ) (集英社文庫)



[白昼堂々 \(凧一シリーズ\) \(集英社文庫\) 下载链接1](#)

著者:長野まゆみ

出版者:集英社

出版时间:2001-11-20

装帧:

isbn:9784087473827

1976年初冬。由緒ある華道家元の若き跡継ぎである原岡凧一は、従姉・省子の男と

もだちだったアメリカンフットボール部のエース氷川享介と出逢う。その邂逅が、やがて二人の運命を変えていくことに…。冬から春、やがて夏へと移ろう季節の中で、彼等の思いはどこへ向かうのか。凜一の希みは叶えられるのか。少年たちの切ない恋を描く好評シリーズ第一弾。

作者介绍:

目录:

[白昼堂々 \(凜一シリーズ\) \(集英社文庫\) 下载链接1](#)

标签

長野まゆみ

小说

日本

日本文学

一般小説

青春

耽美

爱情

评论

萌死了不能再萌。。

填個舊坑……上世紀70年代背景下的少年時代。對那個年代並沒有直觀感受更不要說是島國，於是只能模糊地揣測作者所懷念的青春。這個系列沒有什麼老師擅寫的非現實元素，不過那種水彩一樣清麗的畫面感還是健在。幾條感情線中我反而比較喜歡表姐，還有身為舅舅卻叫哥哥的那位心中的白月光……

花道名门长男的身份造就了凜一的文静隐忍，而孱弱的身体和幼年丧父丧母又令他向往着强壮温柔的男性。不断克制着自己对堂姐男友的恋慕，不断承受着周遭有意或无意施与的伤害，15岁的夏天到秋天，少年凜一承受了太多太多。自父亲死后就不曾落泪的他，在那个与父亲待过的神社里被心爱的男生亲吻之后，再也抑制不住眼中的泪水。那是1977年的晚秋，他还是感到了一种名为“孤独”的疼痛。

言葉遣いの美しさに感動しました

像在吃擺盤很美很精緻,卻味道欠缺的菜,最近不太適應這麼清爽的風格...
凜一少年老成的言語(心理年齡>40歲的感覺),兄弟之間曖昧的氛圍令人蠻在意後續

[白昼堂々 \(凜一シリーズ\) \(集英社文庫\) 下载链接1](#)

书评

[白昼堂々 \(凜一シリーズ\) \(集英社文庫\) 下载链接1](#)